



ミス日本ニュース4月号

ミス日本コンテスト事務局 毎月1回配信
公式WEB⇒ <http://www.missnippon.jp>

★行動の美を始める4月★



12日 緑の募金の全国一斉強調月間PRのため、安倍総理大臣と、林業復活・地域創生を推進する国民会議の三村会長（日本商工会議所会頭）、矢野副会長（住友林業代表取締役会長）に羽根を取り付けました。総理とは学校施設の木質化など、全国に広がる木の利用について懇談しました。



写真：スポーツニッポン新聞社



写真：スポーツニッポン新聞社



4日 プロ野球中日×広島ナゴヤドーム開幕戦シリーズ第3戦の始球式にて、大歓声の中で投球した度會。



13,14日 かすみがらマラソン大会にて、招待選手激励や日立建機の給水エリアで沿道応援。ハイタッチ！



4月2日は国連が定めた自閉症への理解を呼びかける日。東京タワーのふもとで沢山のイベントが開催されました。この日に準ミス西尾が啓発企画を計画実施。手作りクッキーにメッセージを添えて、チャリティー販売したり、青を貴重としたステージでは、西尾の伴奏に合わせて新旧海の日の高橋・山田コンビが歌を披露しました。

★緑の募金を呼びかけて、豊かな森林と木のある暮らし★



27日 ラジオパークin日比谷の国土緑化推進機構ブースにて、募金の呼びかけ。募金は森林を育むための人や教育に使われます。



19日 秋田の再造林寄付金贈呈式のあと、街に繰り出して緑の募金を呼びかけます。子供達や未来のために。



21日 みえ森林・林業アカデミーの開講式。林業の担い手は、国土や水を守る要です。



4日 間伐材マークの愛称を決める委員会。5月に結果発表です！



11日 山梨県小菅村を視察。関東に水を供給する山々が、どのように人の暮らしと結びついているかを学ぶ



25日 老朽化した下水道管を更生するSPR工法。その30周年記念式典。維持補修の時代、ますます注目を集めます。



24-26日 海の日受賞の副賞として、ぱしふいっくびいなす号のクルーズ旅行に。取材も兼ねています。雅楽をテーマにしたクルーズは船内での演奏会や講演会など盛りだくさん。楽しい船旅の思い出ができました。



5、19日 小型船舶操縦士の2級免許を取得した高橋梨子が、海技免許の更新や、ライフジャケットの着用義務を呼びかけるポスターや動画の撮影に臨みました。実際にボートを操縦して沖合いに向かう様子なども撮影。

★ミス日本×ACT SDGs★

SDGs実践講座 第2回



ミス日本協会がACT SDGsと共同して開催する勉強会の2回目です。「持続可能な行動の実践者を目指す」ために毎回講師をお招きして学びをふかめていきます。第2回の講師は「メイド・イン・アース」ブランドマネージャーの前田けいこさまによるオーガニックコットンのお話(SDGs目標6:安全な水)。衣類を通じて環境負荷について考えていきます。そして本企画発起人の1人「SDGsライター」松尾沙織さまによる、海のゴミ問題のお話(目標14:海の豊かさ)。現在の日本人の生活は地球2個分の資源が必要であり、持続可能ではありません。ではどうすればいいのか、一人一人の生活を見直す契機を考え、出席者の間で意見を交換し合いました。



★5月の予定(調整中含む)★

- 3日 自由ヶ丘スイーツフェスタ2019 出演/藤本
- 4日 富良野自然塾東京校 地球の道研修/藤本
朝日新聞・国土緑化推進機構 [みどりの祝日記念広告]/藤本
- 8日 東京都 小池百合子知事 表敬訪問 /度會、高橋、西尾
- 8,9日 森林セラピー体験
フフ山梨・西沢渓谷・武田の杜 /藤本、17野中
- 11,12日 みどりの感謝祭 出演/藤本、17野中
- 11,12日 2019年度愛媛県植樹祭 出演/18竹川
- 12日 水資源機構 八木沢ダム点検放流視察会/谷、西尾
- 13日 世界海事大学奨学生歓迎レセプション 司会/高橋
気候変動国際シンポジウム 司会/藤本
- 15日 スポニチフォーラム /度會、西尾
日本下水道管路管理業協会 懇親会司会 /谷
- 16日 林業復活・地域創生を推進する国民会議 司会 /藤本
- 18日 WOMANS EXPO TOKYO トークショー/度會
ミス&ミスターデフジャパン2019
ゲスト審査員 /西尾・14花岡
- 19日 グリーンウェイブ市原 植樹イベント /藤本
全東京写真連盟 港祭り撮影会モデル/西尾、18山田
京王クリーンキャンペーン 高尾山清掃登山/谷
- 21日 水関連基本法フォローアップ委員会 出席 /西尾
- 22日 グリーンウェイブ福島 植樹イベント /藤本
- 23日 東京都下水道局 神田下水視察 /谷、西尾
とつきょう林業サポート隊募集ポスター 撮影 /藤本
- 24日 河川財団 プロジェクトWET受講 / 谷、西尾
【ミス日本×ACT SDGs】第3回SDGs実践講座
- 25日 第73回群馬県植樹祭 出席 / 藤本
- 28日 日本下水道管路管理業協会中部支部 総会講演会司会/西尾
- 31日 日本下水道施設管理業協会 総会懇親会司会/西尾
2019全国山菜サミットin真室川 出演/藤本

★4月の活動★

- 2日 世界自閉症啓発デー 東京タワーブルーライトアップ
AOAart #BlueKiss 企画&出演/西尾、高橋、18山田
- 4日 プロ野球 中日×広島 ナゴヤドーム始球式/度會
間伐材マーク愛称選考委員会 /藤本
- 5日 海技資格免許更新呼びかけポスター 撮影 /高橋
- 7日 フジテレビ さんまの東大方程式 出演 /岡部
- 11日 山梨県小菅村 林業現場や水源林の視察会 /藤本
- 12日 緑の募金 首相への訪問 緑の羽根着用 /藤本
日本商工会議所 三村明夫会長、住友林業 矢野龍会長
緑の羽根着用 /藤本
- 13,14日 かすみがうらマラソン兼国際盲人マラソン/度會
- 19日 海技資格免許更新呼びかけ動画 撮影/高橋
- 20日 秋田県「再造林寄付金贈呈式」と緑の募金活動/藤本
- 21日 みえ森林・林業アカデミー開講記念式典/藤本
- 22日 海事WEB マリネット取材/高橋
- 24-26日 ミス日本「海の日」副賞クルーズ乗船取材/高橋
- 25日 日本SPR工法協会 30周年記念総会 講演会懇親会司会/谷
- 27日 ラジオパークin日比谷2019 緑の募金呼びかけ/藤本
- 28日 【ミス日本×ACT SDGs】第2回SDGs実践講座



OGの履歴書 第12回 佐野美和さん

1992年度 ミス日本 佐野美和(さのみわ)

東京都八王子市出身、政治キャスター

株式会社チェリーブLOSSAMインターナショナル代表取締役、西山美術館副館長

TBSラジオのパーソナリティ、TBSラジオショッピングの放送作家を経て、

1995年から2001年まで八王子市議会議員として活動。以後はタレントとしてテレビ出演のほか、講演会も精力的に行う。

「新潮社フォーサイト」にて連載執筆中 → <https://www.fsight.jp/>



--現在の活動

現在のことをお話しします。地方議員を終えた後からは、テレビ・ラジオの広告会社を経営しております。実業の最末席に足を踏み入れたことで、また違う扉が開かれました。

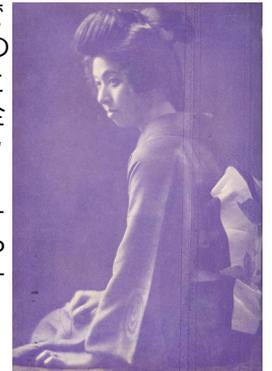


選挙から足を洗ったとはいえ政治には関わっていたという事で、ネットを使った国会議員のインタビューはもう18年間続けています。政治キャスターとしてインタビューした国会議員は500人以上となっております。

そして昨年からは「新潮社フォーサイト」にて「灼熱～評伝 藤原あきの生涯」の連載執筆をさせて頂いております。藤原あきさんは、日本で初めて

「タレント議員」となった人です。テレビ草創期のNHK『私の秘密』にレギュラー回答者として出演していたことから、全国的な知名度で過去最高のトップ当選を果たします。

明治、大正、昭和を通じた一人の女性の喜びや孤独、栄光や挫折が詰まった評伝になりますので、ぜひ読んでくださいね。



--最後に

「ミス・アメリカ・コンテスト」という1973年公開の映画があります。ミスアメリカを目指す女性たちの舞台裏が描かれますが、「ミスコン反対」を叫ぶウーマンリブの闘士が、立場を隠してコンテストに参加してきます。

彼女の目論見通りミスアメリカに選ばれます。受賞スピーチで「私たちは品評会の動物ではない！」と言うセリフを吐きコンテストをメチャクチャにするという算段でした。

ところが、肩から羽のついたガウンをかけられ、頭上にティアラが乗せられると、彼女は闘士という立場も忘れ、マイクに向かい涙を浮かべながら選ばれたことの賛辞と感謝の言葉を述べていくのです。

これは極端なストーリーですが「ミス日本コンテスト」というものがきっかけで、女性の持つ慈愛に満ちた心がより引き出されることを願います。

それは故和田静郎先生の信念であり、その信条は薫先生、優子先生、そして次の代へと受け継がれ、今まさに新しいミスのお嬢さんたちに伝わっている事と思います。

--ミス日本について

私はミス日本のタイトルに多大な恩恵を受けた一人だと感謝しています。

なぜなら28歳の時、八王子市議会議員選挙に出馬し

「元ミスの候補者」として話題となって当選出来たからです。

当時の地方議会では若い女性議員など皆無に等しく、特定政党の役回りとして議員になる女性議員がチラホラという状況。

私も生まれ育った街に新風を吹き込みたいという気持ちで出馬を決めました。まさか「元ミス」という肩書きで話題になるという事は、予想だにしない嬉しい誤算でした。

そのくらい地方議会というのは、日が当たらない地味な場所でもあったのです。

6年間の議員生活、何をやったのかと問われれば、女子の職業選択の一つに「地方議員」という分野を切り開いた事だとひと密かに自負しております。



--ミス日本の思い出

ミス時代、ティアラとタスキを付けて参加した会で印象的な思い出があります。

一つは、花束贈呈をする外務省関連のパーティーでの事です。そこでアテンドして下さったのがお妃候補として新聞などに写真が載る「小和田雅子さん」だったので。トップキャリアを誇る女性が笑顔で優しく接して下さったことに、学ばさせて頂きました。

もう一つは、髭の殿下こと寛仁親王のゴルフコンペのパーティーのプレゼンターとして参加した会でした。もう時効でしょうから言いますが、殿下は内輪の賭けのチョコレートの代わりに昔の100円札の新札を束で持ち、お渡ししたりしていました。

ミスにならなければ一生目にしなかった光景でしょう。